平成 28 年度　経営計画

SHINANO
RAILWAY

平成 28 年 3 月

しなの鉄道株式会社

平成 28 年度経営計画

目　　次

１．経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
（１）　基本方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
（２）　重点項目　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

２．重点施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
（１）　輸送の安全・安定確保　・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
（２）　北しなの線の安定的経営の確立　・・・・・・・・・・・・・・3
（３）　地域との共生・連携に軸足を置いた新たな営業戦略の構築　・・・4
（４）　顧客満足度の向上　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
（５）　経営体質の刷新　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

３．計数計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
〇損益予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
〇設備投資予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
〇資金予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
〇キャッシュフロー予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

４．借入限度額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

経 営 方 針

（1） 基 本 方 針

当社は、平成27年３月、北しなの線の開業にあわせ、平成25年３月に策定した第三次中期経営計画を見直し、北しなの線の経営に係る項目を盛り込んだうえで、平成27年度から29年度までを計画期間とする改訂版（第三次中期経営計画２ｎｄステージ）を策定し、各施策を実施してまいりました。

平成27年度は、北陸新幹線が金沢まで延伸した直後の期間であり、また、４月５日から５月31日には善光寺御開帳が開催され、県内外から多くのお客様が長野を訪れました。平成28年度も、ＮＨＫ大河ドラマ「真田丸」の放映、Ｇ７長野県・軽井沢交通大臣会合、信州デスティネーションキャンペーンプレキャンペーン等が開催され、全国的にも注目され、多くのお客様が沿線地域を訪れることが予想されます。

取り組むべき課題として、安全面では、事故の未然防止に向け全社員の安全意識の高揚を図るとともに、老朽化した施設･設備を計画的に更新していく必要があります。

経営面では、沿線人口の減少、とりわけ、高校の募集定員の減少が続いており、通学定期を中心に利用者数の減少が見込まれます。このため、生活路線としての利便性向上や地域と連携した利用促進に努める必要があります。

サービス面では、より快適で質の高いサービスの提供により、お客様満足度の一層の向上に努めるとともに、駅やホームページに寄せられるお客様の声を適切に反映し改善に結びつけていく必要があります。

以上の状況を踏まえ、平成28年度の経営基本方針を次のとおりとします。

- ■より高いレベルの安全を徹底的に追及
- ■北しなの線の安定的経営の確立
- ■地域に軸足を置いた新たな営業戦略の構築
- ■「しなの鉄道ブランド」の基盤づくり
  ～お客さまサービス、５Ｓ活動の取り組み強化～
- ■ＰＤＣＡの徹底した実施

（2）重点項目

上記の基本方針に基づき、中期経営計画の目標達成に向けて確実に進むための平成28年度の重点項目を次の５項目とします。

- ◆ 輸送の安全・安定確保
- ◆ 北しなの線の安定的経営の確立
- ◆ 地域との共生・連携に軸足を置いた新たな営業戦略の構築
- ◆ 顧客満足度の向上
- ◆ 経営体質の刷新

平成28年度は、基本方針及び重点項目からなるこの経営方針の下、次に掲げる様々な施策を確実に実行していくことにより、中期経営計画に掲げた目標の達成と更なる成長を目指し、全社一丸となって取り組んでまいります。

２．重 点 施 策

（１）輸送の安全・安定確保

ア.安全管理体制の強化

・総合的なリスクマネジメントを実行する場である「安全推進委員会」における取り組みを通じ、安全に関する情報の全社的な共有を図り、事故の再発防止策や未然防止策の策定を行い、輸送の安全水準の維持・向上に努めます。

・訓練会、安全大会の充実を図り、「気づく力」の醸成、「考える力」の強化を図り、社員一人一人の安全意識の向上を図ります。

イ．安全運行体制の確立

・請負工事会社を含めた安全管理体制の下、安全対策が確実に実施されているか検証を行うなど、一体となって安全性の向上に取り組みます。

・添乗強化、現車訓練の実施等により、乗務員の「事故防止意識・知識・技量」の向上を図ります。

・事故情報、他山の石の活用による「再発防止」とヒヤリ・ハット情報の収集・分析による「未然防止」に取り組み、ヒューマンエラーによる事故を撲滅します。

ウ．施設・設備等の安全性の向上

・老朽化が進んでいる施設・設備や構造物について、国や自治体の補助制度を活用し、計画的に改修・修繕工事の実施と各種保守点検等の定期的実施による安全性の向上を図ります。

・老朽化が進む 115 系車両の更新計画を策定します。

エ．自然災害等への対応

・耐震診断結果を基に、輸送等に対する重要度及び老朽化の進捗状況を判断し計画的に耐震補強を進めます。

・自然災害や事故のみならず、テロや感染症等も含めた緊急事態に適切に対応するため、事業継続計画（ＢＣＰ）の策定をはじめ総合的な危機管理体制の構築を進めます。

（２）北しなの線の安定的経営の確立

ア．安全・安定輸送に向けた体制の構築

・27 年度冬期体制における課題を抽出し、次期に向け万全の準備を進めます。

・指令員の添乗や現地踏査を強化するなど、線形、設備状況、地形等を詳細に把握

し、適確な指令業務に繋げます。

イ．施設・設備の整備

・施設･設備や構造物について、開業後１年間の実態把握を踏まえて、国や自治体の補助制度を活用し、計画的に改修･修繕工事を実施し、安全性の向上を図ります。

・木マクラギを順次コンクリートマクラギに計画的に更新し、交換周期の延伸を図ります。

ウ．利用促進に向けた取組

・北しなの線運営協議会をはじめ沿線地域の利用促進団体と連携し、沿線の資源を活かした事業に取り組みます。

・開業１周年記念イベントの開催や、沿線の学校と連携した新たな観光スポットの発掘に取り組みます。

・沿線の観光情報、イベント情報について、ホームページでの発信を充実しＰＲを図ります。

エ．広域的な観光ゾーンを視野に入れた営業戦略の構築

・沿線地域や他の交通機関と連携した企画きっぷを発売し、新たな需要の掘り起しを行います。

・沿線地域の魅力の掘り起しとろくもん北しなの線乗り入れ企画を催行するなど、ＰＲを積極的に図り利用促進に繋げます。

（３）地域との共生・連携に軸足を置いた新たな営業戦略の構築

ア.営業力の強化

・新たな自社駐車場の整備を進め、パーク＆レールライドの推進を図ります。

・営業収入の確保、お客様の利便性向上に向け、駅構内の既存店舗の見直しや新規店舗の誘致を進めます。

・ＮＨＫ大河ドラマ「真田丸」の放映、Ｇ７長野県・軽井沢交通大臣会合、信州デスティネーションキャンペーンプレキャンペーンに合わせ、沿線自治体、関係団体及び他の交通機関と連携した企画商品の開発を行い、新たな需要を創出します。

・ろくもんの収益力アップや業務の効率化に向け、運行計画を総合的に見直すとともに、旅行代理店への営業、インバウンド営業を強化します。

イ．ろくもんと沿線地域の連携強化

・沿線地域の魅力をより堪能していただけるよう、地域と連携した新たな商品開発を行い観光列車としての魅力アップに努め、新たな顧客の掘り起し、リピーターの確保を図ります。

・ろくもん企画列車を催行するとともに、貸切団体列車（マイレール）としての活用を促進し、沿線地域の魅力についてＰＲを図り、利用促進に繋げます。

・ＮＨＫ大河ドラマ「真田丸」の放映、Ｇ７長野県・軽井沢交通大臣会合、信州デスティネーションキャンペーンプレキャンペーンと絡めた活用を進めます。

ウ．ファンクラブの充実強化

・イベント参加、会報誌を通じた会員とのコミュニケーション強化を図るとともに、会員特典の見直しを行い入会を促進します。

エ．情報発信の充実

・沿線の観光情報、イベント情報について、ホームページでの発信を充実しＰＲを図ります。

・ろくもん商品情報について、メディア向けＰＲを積極的に行います。

オ．地域と連携したイベント

・お客様や地域の皆様への感謝イベントを引き続き開催するとともに、駅や列車を活用したイベントや物販を拡充します。

カ．利用促進に向けた取り組み

・新幹線や他線区との接続など、お客様のニーズに合わせたダイヤ編成に向け、利用実態の把握に努めます。

・多客期については、利用ニーズに合わせて臨時列車を運行します。

・しなの鉄道活性化協議会、北しなの線運営協議会をはじめ沿線地域の利用促進団体と連携し、沿線の資源を活かした事業に取り組みます。

また、軽井沢・小諸間列車増発実証運行を引き続き実施します。

キ．地域社会への貢献

・地域に生きる企業として、地域の美化活動への積極的な参加や地域イベントへの協力などを通じて、沿線地域に貢献します。

（４）顧客満足度の向上

ア．お客様サービスの向上

・「お客さまサービスガイド」の活用と定着化を図り、より高いレベルのサービスが提供されるよう取り組みます。

・各駅に設置した「お客さまの声ボックス」やホームページに寄せられたお客様からの意見や要望を社内的に共有し、積極的に改善に取り組みます。

・高齢者や障がい者など介助を必要とされるお客様へ、よりきめ細やかなサービスが提供できるよう、体制の整備、社員のスキルアップを図ります。

・海外からのお客様が安心して利用できるよう、駅案内の多言語表記化に取り組みます。

イ．魅力ある駅づくり

・地域と連携して駅スペースを活用したイベントを開催するとともに、地元農産物・特産品等の販売を行うなど、駅が「まちのステーション」として地域の交流スペースや情報発信の拠点となるよう活用を進めます。

【主なイベント等】

・季節にあった飾り付け（七夕、ハロウィン、クリスマス）、花壇整備 【各駅】
・停車場ガーデンでのコンサート【小諸駅】
・「真田の郷」駅づくり、真田丸関連コーナーの設置 【上田駅】
・千曲市マルシェ号催行 【戸倉駅】
・「ウエルカム三才児プロジェクト」への協力 【三才駅】

・長野県の玄関口であり、ろくもんの出発駅でもある軽井沢駅の魅力アップに向け、関係機関と検討を進めます。

ウ．駅のバリアフリー化

・高齢者や障がい者の方などが安心して駅を利用できるよう、エレベーター設置などバリアフリー化を進めます。

（５）経営体質の刷新

ア．５Ｓ活動の継続実施

・３年目を迎える５Ｓ活動については、日常活動として更に定着するよう取り組み

を進め、お客様が駅を快適にご利用いただけるよう取り組みます。

・５Ｓ活動の中で気づく業務上の課題を解決するため、研修を行い、各職場で業務改善活動に取り組みます。

イ．新人事制度の導入

・社員一人ひとりがその能力を十分に発揮し、経営目標の達成に向けて主体的に行動でき、さらには働き甲斐を実感できる人事制度の導入を目指します。

・導入に当たっては、資格等級、評価、給与、人材育成及び目標管理からなる総合的な制度とします。

・導入に際し、全社員に周知・徹底を図るとともに、評価者研修等を実施し適切な運用を図ります。

ウ．人材の育成

・適正な定数管理と長期的な要員計画に基づく要員運用を行い、効率的な業務遂行と計画的な人材の育成を図ります。

エ．管理会計の強化

・駅で管理可能な収支をブロック別に集計し、効果的・効率的な経営管理に努めます。

オ．業務委託の効率化

・車両の全般検査及び重要部検査の周期及び材料支給方法等を見直し、業務の効率化を図ります。

３．計 数 計 画

平成28年度の計数計画は、別紙「総合予算」（損益予算、設備投資予算、資金予算）及び 「キャッシュフロー」予算のとおりです。

４．借 入 限 度 額

平成28年度の借入限度額を、次のとおりとする。調達方法については、代表取締役に一任する。

設備投資資金　　500,000千円

損　益　予　算

平成28年度

（単位：千円）

	勘定科目(目)	a 上期予算	b 下期予算	c (a+b) 通期予算	d 27年度見込	(c-d) 差額	(c/d) 対前年比
損益予算	旅客運輸収入	1,611,649	1,429,320	3,040,969	3,099,227	-58,258	98.1%
	鉄道線路使用料	212,412	295,430	507,842	484,868	22,974	104.7%
	運輸雑収	386,782	368,932	755,714	746,489	9,225	101.2%
	【鉄道事業営業収益】	2,210,843	2,093,682	4,304,525	4,330,584	-26,059	99.4%
	報酬･給料等	408,779	408,779	817,557	764,892	52,665	106.9%
	手当	66,862	67,024	133,886	125,546	8,339	106.6%
	賞与	128,829	130,096	258,925	239,010	19,915	108.3%
	出向者負担金	26,963	26,963	53,927	53,119	808	101.5%
	退職金	0	19,010	19,010	17,134	1,876	111.0%
	法定･厚生福利費	110,503	110,206	220,709	202,504	18,206	109.0%
	【人件費】	741,936	762,077	1,504,014	1,402,205	101,809	107.3%
	線路保存費	175,875	356,354	532,229	484,035	48,194	110.0%
	電路保存費	78,414	131,411	209,825	224,494	-14,669	93.5%
	車両保存費	183,664	239,554	423,218	369,845	53,374	114.4%
	運転費	187,165	221,873	409,038	438,070	-29,032	93.4%
	運輸費	207,598	202,351	409,949	361,404	48,545	113.4%
	保守管理費	1,918	1,472	3,389	3,650	-261	92.9%
	輸送管理費	62,576	40,240	102,816	128,886	-26,070	79.8%
	案内宣伝費	7,371	9,906	17,277	12,845	4,432	134.5%
	一般管理費	21,571	35,260	56,831	52,583	4,247	108.1%
	諸税	143,841	24,870	168,711	137,787	30,924	122.4%
	減価償却費	177,054	187,625	364,679	386,330	-21,651	94.4%
	【物件費】	1,247,046	1,450,915	2,697,962	2,599,929	98,033	103.8%
	【営業費用】	1,988,983	2,212,993	4,201,976	4,002,134	199,841	105.0%
	【営業損益】	221,860	-119,311	102,549	328,450	-225,901	31.2%
	受取利息･割引料	45	45	90	246	-156	36.6%
	受取配当金	1	0	1	1	0	111.1%
	雑収入	370	44,076	44,446	42,414	2,032	104.8%
	【営業外収益】	416	44,121	44,537	42,661	1,876	104.4%
	支払利息	23,004	20,570	43,574	51,379	-7,805	84.8%
	雑支出	250	250	500	170	330	294.5%
	【営業外費用】	23,254	20,820	44,074	51,549	-7,475	85.5%
	【経常損益】	199,022	-96,010	103,012	319,562	-216,550	32.2%
	固定資産売却益	0	0	0	1,214	-1,214	0.0%
	補助金	0	534,391	534,391	357,568	176,823	149.5%
	負担金	7,300	158,651	165,951	73,265	92,686	226.5%
	【特別利益】	7,300	693,042	700,342	432,047	268,295	162.1%
	固定資産圧縮損	7,300	602,659	609,959	350,047	259,912	174.3%
	【特別損失】	7,300	602,659	609,959	350,047	259,912	174.3%
	【税引前当期損益】	199,022	-5,627	193,395	401,562	-208,167	48.2%
	法人税等	0	22,279	22,279	75,588	-53,309	29.5%
	【税引後当期損益】	199,022	-27,906	171,116	325,974	-154,858	52.5%
	前期繰越損益			934,905	608,931	325,974	153.5%
	当期未処理損益			1,106,021	934,905	171,116	118.3%

損 益 予 算

平成28年度

【しなの鉄道線】 （単位：千円）

	勘定科目（目）	a 上期予算	b 下期予算	c （a+b） 通期予算	d 27年度見込	(c-d) 差額	(c/d) 対前年比
損益予算	旅客運輸収入	1,226,862	1,092,825	2,319,687	2,369,009	-49,322	97.9%
	鉄道線路使用料	24,819	26,596	51,415	56,240	-4,825	91.4%
	運輸雑収	287,462	268,867	556,329	541,541	14,787	102.7%
	【鉄道事業営業収益】	1,539,143	1,388,288	2,927,431	2,966,791	-39,360	98.7%
	【人件費】	527,086	540,608	1,067,693	984,789	82,904	108.4%
	線路保存費	103,139	166,274	269,413	309,304	-39,891	87.1%
	電路保存費	51,987	72,710	124,697	136,495	-11,798	91.4%
	車両保存費	161,235	162,144	323,379	322,699	681	100.2%
	運転費	118,233	137,146	255,379	262,872	-7,493	97.1%
	運輸費	127,502	119,615	247,116	204,979	42,137	120.6%
	保守管理費	1,154	1,098	2,252	2,438	-186	92.4%
	輸送管理費	58,687	39,056	97,743	123,399	-25,656	79.2%
	案内宣伝費	6,111	7,905	14,016	10,360	3,656	135.3%
	一般管理費	14,645	23,940	38,585	34,564	4,021	111.6%
	諸税	93,497	15,760	109,258	111,170	-1,912	98.3%
	減価償却費	147,137	156,234	303,371	281,769	21,602	107.7%
	【物件費】	883,328	901,881	1,785,209	1,800,049	-14,840	99.2%
	【営業費用】	1,410,414	1,442,489	2,852,902	2,784,838	68,065	102.4%
	【営業損益】	128,729	-54,200	74,528	181,953	-107,425	41.0%
	営業外収益	264	43,970	44,234	41,246	2,988	107.2%
	営業外費用	14,784	13,236	28,020	32,812	-4,792	85.4%
	【経常損益】	114,210	-23,467	90,743	190,387	-99,645	47.7%
	特別利益	7,300	630,689	637,989	252,443	385,546	252.7%
	特別損失	7,300	567,945	575,245	195,242	380,003	294.6%
	【税引前当期損益】	114,210	39,277	153,487	247,589	-94,102	62.0%
	法人税等	0	14,164	14,164	48,054	-33,891	29.5%
	【税引後当期損益】	114,210	25,113	139,323	199,534	-60,211	69.8%

【北しなの線】 （単位：千円）

	勘定科目（目）	a 上期予算	b 下期予算	c （a+b） 通期予算	d 27年度見込	(c-d) 差額	(c/d) 対前年比
損益予算	旅客運輸収入	384,787	336,495	721,282	730,218	-8,936	98.8%
	鉄道線路使用料	187,593	268,834	456,427	428,628	27,799	106.5%
	運輸雑収	99,320	100,065	199,385	204,948	-5,563	97.3%
	【鉄道事業営業収益】	671,700	705,394	1,377,094	1,363,793	13,301	101.0%
	【人件費】	214,851	221,470	436,320	417,416	18,904	104.5%
	線路保存費	72,736	190,080	262,816	174,731	88,085	150.4%
	電路保存費	26,427	58,701	85,128	88,000	-2,872	96.7%
	車両保存費	22,429	77,410	99,839	47,146	52,693	211.8%
	運転費	68,932	84,727	153,659	175,198	-21,539	87.7%
	運輸費	80,097	82,736	162,832	156,425	6,407	104.1%
	保守管理費	763	374	1,137	1,212	-75	93.8%
	輸送管理費	3,889	1,184	5,073	5,487	-414	92.4%
	案内宣伝費	1,260	2,001	3,261	2,485	777	131.3%
	一般管理費	6,925	11,320	18,246	18,020	226	101.3%
	諸税	50,344	9,110	59,454	26,617	32,837	223.4%
	減価償却費	29,917	31,390	61,308	104,560	-43,253	58.6%
	【物件費】	363,718	549,034	912,753	799,881	112,872	114.1%
	【営業費用】	578,569	770,504	1,349,073	1,217,297	131,776	110.8%
	【営業損益】	93,131	-65,110	28,021	146,497	-118,476	19.1%
	営業外収益	152	151	303	1,415	-1,112	21.4%
	営業外費用	8,470	7,584	16,054	18,737	-2,683	85.7%
	【経常損益】	84,812	-72,543	12,269	129,174	-116,905	9.5%
	特別利益	0	62,353	62,353	179,603	-117,250	34.7%
	特別損失	0	34,714	34,714	154,804	-120,090	22.4%
	【税引前当期損益】	84,812	-44,904	39,908	153,973	-114,065	25.9%
	法人税等	0	8,115	8,115	27,534	-19,418	29.5%
	【税引後当期損益】	84,812	-53,019	31,793	126,440	-94,647	25.1%

設 備 投 資 予 算

平成28年度

【しなの鉄道線】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

	区分	件　名	a 予算額	b 補助金 負担金	(a-b) 当社負担額	竣功 予定	備　考
設備投資予算	軌道	PCマクラギパンドロール化	34,893	11,631	23,262	12月	補助金1/3（国）
	軌道	用地図原図保管用ロッカー購入	335	0	335	5月	
	軌道	合　計	35,228	11,631	23,597		
	土木	管内駅舎耐震補強（田中）	61,000	0	61,000	3月	
	土木	屋代駅バリアフリー化（EV設置）	539,000	246,666	292,334	3月	補助金2/3（国・県・千曲市）一部対象外
	土木	小諸駅バリアフリー化（EV設置設計）	38,000	25,332	12,668	12月	補助金2/3（国・県・小諸市）、工事は29年度
	土木	合　計	638,000	271,998	366,002		
	電力	大屋変電所変成機器更新	100,000	66,666	33,334	3月	補助金2/3（国・県・沿線市町）
	電力	御代田変電所き電盤他取替	40,000	26,666	13,334	3月	補助金2/3（国・県・沿線市町）
	電力	遠方監視制御装置子局更新	32,000	21,332	10,668	3月	補助金2/3（国・県・沿線市町）
	電力	電車線支持物建替	100,000	33,333	66,667	2月	補助金1/3（国）
	電力	高圧変圧器取替	2,000	0	2,000	12月	
	電力	需要設備柱上高圧交流負荷開閉器取替	1,000	0	1,000	12月	
	電力	変電所エアコン更新	1,000	0	1,000	11月	
	電力	御代田変電所蓄電池制御盤取替	3,000	0	3,000	2月	
	電力	御代田変電所制御用変圧器更新	700	0	700	11月	
	電力	合　計	279,700	147,997	131,703		
	信通	列車無線基地局改良	9,000	3,000	6,000	11月	補助金1/3（国）
	信通	通信電源装置更新	5,000	0	5,000	8月	
	信通	踏切保安装置・電子踏切更新	3,690	0	3,690	9月	
	信通	電気転てつ機取替	3,025	0	3,025	8月	
	信通	踏切制御子改良	8,449	0	8,449	9月	
	信通	通信ケーブル障害探査装置	200	0	200	5月	
	信通	合　計	29,364	3,000	26,364		
	車両	デジタル列車無線装置改造	84,000	0	84,000	3月	
	車両	EB装置改修	5,000	0	5,000	3月	
	車両	車両購入	10,000	0	10,000	10月	
	車両	車両外板塗装変更	1,500	0	1,500	10月	
	車両	ワンマン自動放送ソフト改修	5,500	0	5,500	3月	
	運転	運転曲線作成ソフト	1,800	0	1,800	5月	
	運転	御代田駅ホームミラー新設その他	1,800	0	1,800	11月	
	車両・運転	合　計	109,600	0	109,600		
	営業	駅構内案内標記多言語化	1,800	0	1,800	6月	
	営業	消費税増税対応運賃改定作業	12,000	0	12,000	3月	
	営業	小諸駅自動券売機小海線口座追加	1,800	0	1,800	5月	
	営業	小諸他3駅券売機更新及び移設	23,500	0	23,500	10月	
	営業	乗車券発券システム改修	3,000	0	3,000	5月	
	営業	ろくもん受付用県産材カウンター製作	360	0	360	7月	
	営業	ビール列車用手洗い設備	200	0	200	6月	
	上田駅	西上田駅構内放送用スピーカー新設	185	0	185	6月	
	上田駅	田中駅給水設備増設	118	0	118	3月	駅舎耐震補強工事に含んで施工
	営業・駅	合　計	42,963	0	42,963		
	総務	連絡精算データ処理化ソフト開発	8,000	0	8,000	8月	
	総務・企画	合　計	8,000	0	8,000		
	小諸市	小諸構内弁慶橋補修電力支障移転	7,300	7,300	0	6月	
	上田市	上田・西上田間40k800m付近踏切新設	158,651	158,651	0	3月	
	負担金	合　計	165,951	165,951	0		
	しなの鉄道線合計		1,308,806	600,577	708,229		

設 備 投 資 予 算

平成28年度

【北しなの線】

（単位：千円）

	区分	件　名	a 予算額	b 補助金 負担金	(a-b) 当社負担額	竣功 予定	備　考
設備投資予算	北・軌道	木マクラギPC化	27,073	18,048	9,025	12月	補助金2/3（国・県・沿線市町）
	北・軌道	横取装置進出防止柵設置	693	0	693	11月	
	北・軌道	合　計	27,766	18,048	9,718		
	北・土木	洗掘検知装置バッテリ新設	2,000	0	2,000	11月	
	北・土木	豊野構内継電器室冷暖房装置取替	3,700	0	3,700	7月	
	北・土木	合　計	5,700	0	5,700		
	北・電力	電車線支持物建替	22,000	14,666	7,334	1月	
	北・電力	高圧変圧器取替	2,200	0	2,200	12月	
	北・電力	E491系電気検測車車上システム改修	1,500	0	1,500	12月	
	北・電力	合　計	25,700	14,666	11,034		
	北・信通	踏切制御器取替	1,070	0	1,070	7月	
	北・信通	北長野電子連動装置取替（設計）	2,500	0	2,500	3月	
	北・信通	搬送装置取替	45,000	0	45,000	2月	
	北・信通	列車無線基地局取替	6,000	2,000	4,000	3月	
	北・信通	列車運用変更に伴う信号設備改良	2,000	0	2,000	11月	
	北・信通	合　計	56,570	2,000	54,570		
	北　し　な　の　線　合　計		115,736	34,714	81,022		
	会　社　総　合　計		1,424,542	635,291	789,251		

【リース】

（単位：千円）

	区分	件　名	a 予算額	b 補助金 負担金	(a-b) 当社負担額	実施 予定	備　考
設備投資予算	リース	技術センター軌道係トラック（更新）	4,362	0	4,362	5月	
	リース	技術センター電力係トラック（更新）	4,362	0	4,362	9月	
	リース	技術センター電力係バン（更新）	2,652	0	2,652	9月	
	リース	技術センター事務係バン（6379再）	461	0	461	5月	
	リース	技術センター土木係軽バン（3224再）	384	0	384	7月	
	リース	上田駅バン（5498再）	629	0	629	9月	
	リース	本社軽バン（3692再）	627	0	627	7月	
	リース	合　計	13,477	0	13,477		

資 金 予 算

平成28年度

（単位：百万円 単位未満切捨）

	項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
資金予算	a.【前月繰越】	1,032	1,172	956	964	979	956	1,044	1,179	927	716	502	337
	旅客運輸収入	436	274	264	303	291	351	355	291	264	279	222	276
	現金収入	373	185	139	224	234	269	270	169	165	214	155	196
	未収運賃回収	63	88	124	78	56	81	85	122	99	65	67	79
	鉄道線路使用料	111	0	0	115	0	0	192	0	0	0	0	122
	運輸雑収	79	57	57	96	62	59	81	57	53	66	41	54
	当月入金	29	29	29	32	33	31	29	27	23	18	6	20
	翌月入金	32	9	8	43	9	8	31	9	8	28	14	13
	翌々月入金	17	18	19	20	19	20	20	19	20	19	20	19
	【営業収入小計】	628	332	322	515	354	412	629	349	318	346	264	453
	営業外収益	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受取利息･配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雑収入	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1.【営業活動収入合計】	666	332	322	515	354	412	629	349	318	346	264	453
	補助金収入	357	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	部外工事収入	51	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0
	固定資産売却益収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2.【投資活動収入合計】	408	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0
	短期借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長期借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500
	その他収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3.【財務活動収入合計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500
	b.【収入総計】(1+2+3)	1,075	332	322	524	354	412	629	349	318	346	264	953
	人件費	95	97	99	228	115	97	101	97	226	120	97	97
	経費	436	102	148	206	116	151	264	245	171	301	158	129
	当月支払	18	15	17	11	11	14	13	15	16	13	14	15
	翌月支払	411	81	122	182	96	128	239	220	146	278	135	105
	翌々月支払	6	6	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	損害保険料	0	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0
	固定資産撤去費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	預り連絡運賃支払	21	24	54	28	20	31	31	36	38	24	23	30
	貯蔵品購入	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0
	リース料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	公租公課	22	235	0	28	31	25	10	82	14	20	25	10
	固定資産税等	22	31	0	28	0	15	0	15	14	0	14	0
	事業税	0	10	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0
	その他諸税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	法人税	0	68	0	0	0	0	0	37	0	0	0	0
	消費税	0	124	0	0	31	10	10	10	0	20	10	10
	【営業支出小計】	576	461	303	493	284	307	410	462	452	469	305	269
	営業外費用	0	11	0	0	11	0	0	10	0	0	10	1
	支払利息	0	11	0	0	11	0	0	10	0	0	10	1
	雑支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4.【営業活動支出合計】	576	472	303	493	295	307	410	473	452	469	315	270
	設備投資支出	358	0	10	15	5	16	83	50	77	91	36	139
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.【投資活動支出合計】	358	0	10	15	5	16	83	50	77	91	36	139
	短期借入金返済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長期借入金返済	0	76	0	0	76	0	0	76	0	0	76	0
	その他支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.【財務活動支出合計】	0	76	0	0	76	0	0	76	0	0	76	0
	c.【支出総計】(4+5+6)	934	548	313	509	376	323	494	600	530	560	429	410
	d.次月繰越(a+b−c)	1,172	956	964	979	956	1,044	1,179	927	716	502	337	880

キャッシュフロー予算

平成28年度

（単位：百万円 単位未満切捨）

	項目		金額
キャッシュフロー予算	営業活動	税引前当期利益	193
		減価償却費	364
		その他	-17
		法人税等	-75
		計	465
	投資活動	補助金・負担金	635
		設備投資	-1,424
		計	-789
	財務活動	短期借入金 （借入額-返済額）	0
		長期借入金 （借入額-返済額）	194
	合計	計	194
	現金及び現金同等物の増減額		-130
	前期繰越現金・預金		1,032
	次期繰越現金・預金（参考）		902

注）この金額は、簡易的な計算（消費税抜き・発生ベース）によるものであり、資金計画とは異なる。